



森のめぐみの体験学習

## エコシステムアカデミー

2019年を振り返って、「エコシステムアカデミー」の取り組みについてご紹介いたします。

エコシステムアカデミーは、MPMグループの継続的なCSR活動として、出前授業や環境フェア出展等の活動を、各地域の学校や自治体、関連企業や団体と連携して行ってきました。本年は、従来の連携を継続させながら、新たに品川区との関係を築くことができました。また、墨田区や水元公園との協働取り組みでは、森林資源のリサイクルを学ぶプログラムとして、古紙に焦点を当てた紙すき体験を立ち上げました。

エコアカが管理している白河社有林のFSC材としての利用については、ノベルティの製作など少しずつではありますが実績を上げることができました。

これからも、エコシステムアカデミーは、地域の方々および関連団体との連携を深めながら、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献できるように、その活動を推進していきたいと考えています。

### I 体験型学習

#### 1. 環境教育

【白河地区での取り組み】

〇8/27 春日部市年少リーダー研修会 森林環境学習（那須甲子青少年自然の家）

小5、小6、中1生 37名を対象に、講義+紙すき体験を行いました。



〇9/6 天栄村立大里小学校 森林環境学習（那須甲子青少年自然の家）

5,6年生 18名を対象に、講義+紙すき体験を行いました。



○9/22 工学院大学生への森林環境学習

工学院大学生(6名)(+紙販関係7名)への森林環境学習として、FSC材伐り出し体験(村火社有林 アカマツ2本、ミズキ2本)を行いました。



みんなで伐り出した白河社有林 FSC アカマツは、カレンダースタンド(三菱王子紙販売のノベルティとして製作)に生まれ変わりました。(村火社有林(伐採) → みなみ製材所(製材) → フロンティアジャパン(成形加工))



○10/6 ファミリーフェスティバル(那須甲子青少年自然の家)

紙すき体験をブース出展しました。約50名の一般の方に参加いただきました。



○セカンドスクールでの森林環境学習(那須甲子青少年自然の家)

11/5 羽太小(9名)、11/6 川谷小(5名)、11/12 米小(38名)にて、講義+紙すき体験を行いました。

<西郷村立羽太小学校>



<西郷村立川谷小学校>



<西郷村立米小学校>



【東京地区での取り組み】

〇1/19 しながわコミュニティースクールフェスタ

ブース展示および出前授業実演(紙すき体験)を行い、学校関係者、保護者、地域の方々を対象にエコアカの出前授業を紹介しました。



〇1/30 墨田区「エコライフ講座」

第4回墨田区エコライフ講座を担当し、一般の方17名を対象に、森の循環についての講義+白河だるまFSC®認証への絵付け体験+エコバッグ作りを行いました。



○2/5 墨田区立両国小学校出前授業（社会科林業）

社会科林業の授業の一環として、5年生 90名 3クラスを対象に「日本の森林（人工林）を守るためにどうしたらよいか」をテーマにした児童の企画書への講評を行いました。



○4/14 日本宇宙少年団未来 MM 分団自然観察会

水元公園（東京）にて、日本宇宙少年団（小学生～高校生まで 34名＋保護者 15名）を対象に、自然観察会のガイドを担当しました。



○6/29 - 30 すみだ環境フェア

「森のサイクル・紙のサイクル」をテーマに出展し、パネル・クイズ・アンケートでのエコアカの活動・SDGs への貢献紹介、ワークショップ（エコバッグ作り、白河だるま（FSC®認証・eco）絵付け体験）、彩美 s・リンネンネ展示紹介を行い、520名（内ワークショップ 114名）/2日の方にブース来場いただきました。



○7/26 すみだ環境プログラム

ワークショップ「家庭にある紙で再生紙づくりにチャレンジ！」（参加者 40名（親子 20組））を開催しました。古紙から再生紙をつくる流れ、古紙分別の理由、資源のリサイクルについて体験学習していただきました。



#### 〇8/3 - 4 水元公園 夏休み自由研究講座

水元公園夏休み自由研究講座（東京）「家庭にある紙製品で再生紙をつくってみよう」を水元公園サービスセンター、水元公園グリーンプラザ友の会と協働で開催し、95名の親子に古紙から再生紙をつくる流れ、古紙分別の理由、資源のリサイクルについて体験学習していただきました。



#### 〇8/24 - 25 工学院大学 科学教室

工学院大学 環境 ISO 学生委員会の学生との協働で、およそ 100 名の親子対象に森林環境学習、紙すき体験を実施しました。



#### 〇10/16 葛飾区立水元小学校樹木観察会（水元公園）

1年生4クラス108名を対象に、「秋の葉やドングリ」をテーマにした観察会を実施しました。また、葉っぱを使ったクラフト体験、コナラのドングリ植え付体験も行いました。



#### 〇10/19 ふれあいフェスティバル（水元公園）でのクラフト体験

木の実・枝・ツル・木片などを使ったクラフト体験コーナーにて、会場準備・撤収・参加者対応（約 25 名 × 4 回）を担当しました。



○12/1 メタセコイアの森観察会（水元公園）

公園一般来場者を対象に観察ガイドを水元公園サービスセンターと協働で担当しました。午前の部で23名、午後の部で21名の方に参加いただき、紅葉したメタセコイアを始め、秋を感じてもらうよい機会となりました。



【関西地区での取り組み】

○3/11-12 長岡京市立長岡第七小出前授業

長岡第七小学校（5年生85名3クラス）を対象に、社会科林業の授業の一環として、講義「林業について」「紙について」と紙すき体験「パルプ（N/L/古紙）の違いを体験」を行いました。



○11/16 長岡京市環境フェア

長岡京市環境フェアに出展（森林環境学習＋紙すき体験＋プリントサービス）し、親子（子ども23名/大人19名）に参加いただきました。



【八戸・北上地区での取り組み】

○2/19 八戸市立多賀台小出前教室

多賀台小学校（5年生29名1クラス）を対象に、社会科林業の授業の一環として、講義「林業について」「紙について」と紙すき体験「パルプ（N/L/古紙）の違いを体験」を行いました。



○プロジェクトD（東日本大震災復興支援プロジェクト、主催：日本環境協会）  
プロジェクトDの森 in 北上として、日本環境協会と協働で豊かな森づくりを進めています。

<4/5 プロジェクトDの森 in 北上生育状況調査>

プロジェクトDの森 in 北上の植樹木の生育状況調査を実施しました。植樹してから約2年が経過しますが、概ねしっかりと根付いていました。これからの生長が楽しみです。



<7/21 プロジェクトD育樹（下草刈り）体験>

参加者31名（地元こどもエコクラブ等から21名、MPMから10名）で開催しました。植樹以来3年目となり、植樹したコナラ等は順調に生長しています。今回は、1本だけとなっていたムラサキシキブの補植（15本）も行いました。今後も継続開催を予定しています。



○11/26 金ヶ崎町立第一小学校出前授業

5年生21名を対象に、森林環境学習+紙すき体験を行いました。



## 2. インストラクター養成・社員教育

〇2/18 インストラクター養成教育（八戸）

八戸サイト（MOC 総務課・会計課・業務課、新北菱林産）の7名、エコアカ1名が新たにインストラクター補となりました。



〇4/6 八戸サイト新入社員エコアカ研修（八戸）

MOH 9名、MOC 7名を対象に、

（講義）

- ・MPMグループのCSRとしてのエコアカ紹介
- ・環境と森林

を行いました。



〇インストラクタースキルアップトレーニング（4/13、5/11、7/13、9/14、10/5、10/11）（東京）

水元公園をフィールドとして、エコアカ インストラクターとしての樹木ガイドスキルの修得・向上を目的として、本年は6回開催しました。ここで身につけたスキルは水元公園での観察ガイドを担当することに活かされました。



〇インストラクター養成教育（9/2 本社）（8/26、9/4 - 6 白河）

インストラクター養成教育を行い、本社1名、DMC1名、白菱PT1名が、新たにインストラクター補となりました。今回の工場見学では、アラカイ（チップ工場）⇒中商（リサイクルセンター）⇒エフオン（バイオマス発電所）⇒みなみ製材所⇒炭焼き小屋を回りました。



○11/1 入社2年目社員研修（白河）

入社2年目社員（11名）＋人事G2名を対象に、エコアカ研修（座学、森林野外活動、紙すき体験）を実施しました。



○11/25 インストラクター養成教育（北上）

インストラクター養成教育（北上）を実施し、新たに2名がインストラクター補となりました。また、インストラクターのスキルアップとして、座学のリハーサル研修を行いました。



**3. 営業支援**

○3/28 会津大学短期大学部へのエコアカ紹介

協働取り組みの可能性を探るきっかけ作りとして、会津大学短期大学部教員へのエコアカの活動を紹介しました。



○5/9 白河地区経営者協会へのエコアカ紹介（白河）

白河地区経営者協会 21 企業 26 名の方に、ビジターセンターでのプレゼンテーションおよび村火社有林観察路見学を通じて、エコアカ活動を紹介しました。



○5/14 MFZ エコアカ研修（白河）

MFZ5名（日本人1名、中国人4名 および機能材事業アテンド2名）が日本での研修の一環として、エコアカ研修（森林・紙についての講義、社有林での観察・計測体験、紙すき体験、白河だるま絵付け体験を受講しました。



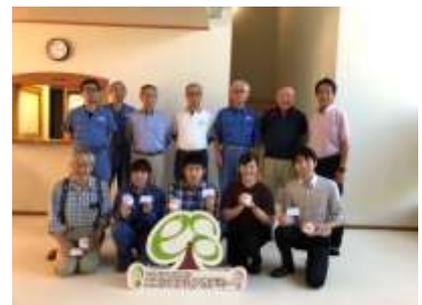
○6/13 白河実業高校実習生へのエコアカ研修（白河）

白河実業高校実習生（2名）+白菱PT（1名）へのエコアカ研修（三菱製紙グループのCSRとしてのエコアカ紹介、紙すき体験）を実施しました。



○9/2、9/13（本社）、9/4 - 6（白河） 成蹊大学学生インターンシップ（白河）

成蹊大学学生（2名）をインターンシップとして受け入れ、インストラクター養成教育受講、工場見学、出前授業企画・運営を体験してもらいました。



○10/28 三菱商標登録委員会エコアカ体験（白河）

三菱商標登録委員会（三菱グループ企業8社13名参加）対象にエコアカ体験研修（エコアカの概要・主張、森林観察・計測体験、クラフト体験）を実施しました。



## II 森の調査・研究

### 1. 社有林のカメラ観察（定点カメラ／トレイルカメラ）

定点カメラとトレイルカメラでの社有林の生態を写真で記録しています。

本年は、イノシシ、クマ、サル、シカ、タヌキ、キツネ、ウサギが撮影されました。クマとサルは社有林では初めての撮影でした。また、イノシシが群れで活動している様子も撮影されました。

＜定点カメラ＞1時間おきに撮影しています。



＜トレイルカメラ＞動体を感知して撮影しています。



### 2. 社有林 立木生長量調査

手入れされているエリアとされていないエリアでの立木の生長量の違いについて継続調査を行っています。



### 3. 社有林内の野鳥調査

日本野鳥の会白河支部の方にご協力をいただきながら、継続調査を行っています。

### 4. 社有林内の放射線量測定

東日本大震災以降の放射線量の推移について、継続調査を行っています。

### Ⅲ 森の育成・管理

#### 1. 社有林の巡視・整備（通年）

##### ○社有林境界地踏査

##### <4/25 村火社有林境界踏査>



##### <5/23 欠入社有林境界踏査>



##### ○FSC 更新審査

##### <6/6-6/7 FSC-FM 監査>

本年は更新審査であり、七戸社有林での現地監査の後、白河社有林についても新北菱林産(北上)での書類審査を受けました。不適合なく、認証は継続されました。



##### <6/26 FSC-COC 監査>

今回は年次監査で、指摘事項はなく、エコアカにてFSC 製品（木製品、モールド製品）の製造が可能となりました。社有林の材を利用したアイテムを製作します。

##### ○社有林作業の安全管理

エコシステムアカデミー事務局 2 名が、刈払機作業とチェーンソー作業の特別教育を受講しました。

##### <7/31 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育受講（白河）>

##### <12/19、20、22 チェーンソー取扱作業者に対する安全衛生教育受講（白河）>

## IV 環境セミナー

### 第10回環境セミナー

○11/14 開催 テーマ「SDGsに貢献する体験環境学習」

講演者として環境省 環境教育推進室長 三木様、日本野鳥の会 施設運営支援室長 大畑様をお招きし、三菱製紙本社を会場（各工場へはTV会議システムで中継）として開催しました。約200名（社外来場者60名含む）の方に聴講いただきました。アンケート結果からは、多くの方のSDGs・企業が行う体験学習への関心の高さが伺えました。



## V その他

### 本社ギャラリー展

○4月 「エコアカ活動の紹介、SDGsへの貢献」

○11月 「森のめぐみのエコアカ体験」

○11/13 エコアカ体験会（紙すき、クラフト、樹木計測）

本社ギャラリー展では、エコアカ活動パネル、森の循環ジオラマ、体験学習ツールなどを展示紹介しました。エコアカ活動紹介を目的に、エコアカ体験会を本社会議室で開催し、約20名の方に紙すき、クラフト、樹木計測を体験いただきました。



\*\*\*\*\*

【発行人】エコシステムアカデミー室長 長田雅一

【発行年月日】2020年1月21日